

2011年3月1日  
東京海上日動あんしん生命保険株式会社

## 抗がん剤治療患者のための『タオル帽子』の寄贈について

東京海上日動あんしん生命保険株式会社（取締役社長 北沢 利文）は、CSR活動として2007年9月から展開している「お客様をがんからお守りする運動※」の一環として、抗がん剤治療の副作用により髪が抜けた患者さんのための『タオル帽子』を昨年度に続いて製作し、2011年2月26日（土）に盛岡市の市民団体「岩手ホスピスの会」（川守田 祐司 代表）へ寄贈いたしました。

※当社は、「お客様をがんからお守りすることができないだろうか」「がんに苦しむ患者さんやご家族の方々の苦しみ、つらさを少しでもやわらげるためにお役に立てないだろうか」という思いから、がんについて「知ろう」、「お伝えしよう」、「お役に立とう」の3つのステップで「お客様をがんからお守りする運動」に取り組んでいます。

『タオル帽子』の製作は、盛岡市の市民団体「岩手ホスピスの会」が、「がん患者さんやそのご家族の方々を支援したい」、「闘病中の患者さんを勇気付けたい」という思いで3年前から製作活動に取り組まれており、これまでに1万8千個を全国の病院に寄贈されています。

当社は、昨年度、メディアを通じてこの活動を知り感銘を受け、『タオル帽子』製作に協力いたしました。今回は2回目の取組みとなります。

当社を含めた東京海上グループ関係者とその家族が、一針一針心をこめて製作し、1,000個以上の『タオル帽子』を「岩手ホスピスの会」へ寄贈いたしました。

「岩手ホスピスの会」には、大変意義深いこの取組みへの「きっかけ」「気づき」を与えていただいたことを心より感謝しております。

今回の『タオル帽子』寄贈は、当社がCSR活動として2007年9月から展開している「お客様をがんからお守りする運動」の一環として行いました。

当社は、保険金・給付金のお支払いだけでなく、がんの予防や精神的なサポートを行うことも生命保険会社の社会的な使命と考えております。

今後も、お客様がお困りになることを総合的にサポートすることを目指し、様々な活動に取り組んでまいります。

以上



＜左＞「岩手ホスピスの会」（川守田 祐司 代表）      ＜右＞当社取締役社長 北沢



贈呈されたタオル帽子の一部